

桃園完成、県で優秀賞

3月9日(火)

45年以上の歴史を誇るPTA広報「桃園」が完成し、週末に持ち帰ったと思います。その桃園が本年度、兵庫県PTAの広報の中で「優秀賞」を受賞しました。おめでとうございます。毎年のことですが、「セカンド卒業アルバム」のような素晴らしい仕上がりです。何度も会議を持っていただき、時間をかけて作られたことに敬意を表します。

この「桃園」の目次下にはその由来が以下のように記されています。

1947年松林を切り拓き、この地に山南中学校が誕生。校舎の南の原野を先輩の手で開墾。小指くらいの太さの桃の木を40本植付けた。一年一年枝を伸ばし、幹を太らせ花を咲かせ、1950年初めて実が収穫される。この年PTA、学校、生徒会が卒業記念文集を作ることとなり、中学校を巣立っていくひとりひとりがこの桃のように成長してくれることを願って、文集名「桃園」と名づけることになった。1960年以降、桃の木も体力づくりのため、プール、テニスコート等に生まれ変わっていった。(桃園より)

その桃の木があった頃(昭和32年)の写真です。今、テニスコートやプール跡があるあたりになると思います。

この「桃園」は、題字も表・裏表紙のカットも代々卒業生が描きます。生徒たちはこの大役に立候補すべく、習字や美術も頑張ります。この歴史ある

「桃園」には、卒業生が10年後の自分に向けた言葉や、恩師の言葉などが添えられています。様々な

思いを胸に45名の卒業生が1週間後に巣立って行きます。「桃園」の編集に携わっていただきましたPTA研修部の皆さんに厚くお礼申し上げます。退職を目前に控えた私にとって、特に今年の「桃園」は感慨深いものがあります。

卒業生全員が、保護者へのメッセージを書いています。どの生徒の言葉を読んでも、山南中学校の3年生らしさが伝わってきます。どの生徒も、「見守ってくれてありがとう。」「これからもよろしくお願いします。」など、優しさに満ち溢れた言葉を残しています。

